

平成29年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成30年1月18日）

協議会議事要点録				
会議名	平成29年度 第2回江田島市公共交通協議会			
日時	平成30年1月18日（木）13時30分～14時50分			
場所	大柿公民館2階会議室			
傍聴者	2名			
出席者	県立広島大学	名誉教授	のほら けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教授	おかやま まさと 岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役	はすだ つとむ 蓮田 勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	はたふじ ひでき 畠藤 秀樹	○
	広島県旅客船協会	会長	にっ た いちろう 仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	たにぐち みのる 谷口 実	×
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	いまみや こうじ 今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会長	はまなか しげみ 濱中 繁美	○
	江田島市老人クラブ連合会	会長	ふるもと さねき 古本 眞機	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	どうの さき たいら 堂野崎 平	○
	江田島市女性会連合会	会長	はままつ ゆきこ 濱松 由紀子	○
	江田島市観光協会	会長	いとう ふみお 伊藤 富美雄	○
	中国運輸局	海事振興部旅客課長	さこだ たけとし 迫田 武利	代理出席 武井 亜弥
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	はしもと みちひさ 橋本 実千寿	代理出席 重長 誠
	広島県	地域政策局 地域力創造課長	きむら ひろし 木村 洋	代理出席 寺口 真耶
	江田島警察署	地域交通課長	やまぐち きよふみ 山口 清文	○
	江田島市	副市長	どて さんせい 土手 三生	○
江田島市	企画部長	わたなべ たかひさ 渡辺 高久	○	
江田島市	土木建築部長	きむら なるひろ 木村 成弘	×	
1 開 会				
事務局	開会宣言			
2 会長あいさつ				
会 長	土手会長あいさつ			

3 議 題	
(1) 報告事項 ・平成29年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持事業）の事業評価について（資料1）	
議 長	まず、地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について、先般書面審議をお願いしたところ、快く対応していただき、ありがとうございました。 その結果について、事務局から報告します。
事 務 局	－資料1により説明－
議 長	ただいま事務局から報告がございましたが、何か御質問、御意見ございましたら、賜りたいと思います。いかがでしょうか。
各 委 員	（質問・意見等なし）
議 長	なければ、承認いただいたということで、終了いたします。
(2) 協議事項 ・平成30年度江田島市乗合タクシー運行業務委託について（資料2）	
議 長	次に、協議事項でございます。平成30年度江田島市乗合タクシー運行業務委託について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	－資料2により説明－
議 長	事務局から優先交渉者決定の経緯が説明されたところです。ただいまの報告につきまして、御質問ないしは御意見はいかがでしょうか。
各 委 員	（質問・意見等なし）
議 長	ないようでございます。 事務局から説明がありましたように、公募型プロポーザル方式で実施したのは初めてですが、いろいろ不慣れな点もあり、事業者の方々には御迷惑、御心配をおかけしましたが、無事審査委員会を終了いたしました。 それでは、御意見、御質問がないようですので、当協議会におきましては、事務局から報告されたとおりの結果につきまして、御承認いただいたということで、まとめさせていただきます。
4 その他 ・陸上交通の検証について（資料3）	
議 長	その他、陸上交通の検証につきまして、事務局から御説明よろしく申し上げます。この点に関しては、お手元に資料配布がありましたが、それに基づいての説明をお願いしたいと思います。
事 務 局	－資料3により説明－
議 長	事務局から説明がありましたが、この陸上交通の検証につきまして、忌憚のない御意見、実際に利用されてみて、利用の効果といたしましうか、効率的な改正ということで、もう一度見直しが必要であるということではありますが、皆様方の御意見を賜りたいと思っております。 今日はこの協議会の委員になっておられます、住民の各代表の分野で御意見賜

平成29年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成30年1月18日）

	<p>ればと思っております。</p>
	<p>ただいまこの表を見せてもらったんですが、（系統）20番、45番、30番ですか、こういうところの輸送人員1人当たりの経費の数値が非常に高い。何らかの方法を考える必要があるのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>皆様方のお手元に配られている資料で、経常損益で赤くなっているところは軒並み考え直さなければならぬということですが、そのほか、営業係数とか輸送人員1人当たりの経費とか、そういうような数値も出ているので、参考にしながら御意見賜りたいと思います。</p>
委員	<p>私は前にバスに乗ったことなかったのですが、試しに乗ってみました。確かに便利がいいですね。</p> <p>どうしたらバスに皆が乗ってくれるかということで、私ももう少ししたら運転免許を返納しなければならなくなる時期が来ると思います。免許証を返納したとき、皆さんに、バスに安く乗られますよということをやってみて、運転が危なくなったら免許証を返納してバスを利用するように、皆がそのようにすれば良いなと思います。</p>
議長	<p>自分たちの車は便利なので、なかなかバスの利用はできにくいものですが、もう少しバスを有効に、効果的に活用する方法を考えていただくということで、免許証の返納というものも出てきませんかと思えます。</p>
委員	<p>高齢者の方や障害者の方の中には、どうしても必要という方がおられます。極端に、1人当たりの経費が千円以上というものは、見直しの必要があると思うのですが。</p> <p>もう1度アンケートを取るとか、乗られている方にどういう目的で、どの時間帯にどんな利用をされるのかということ、もう少し細かく見る必要があると思います。</p> <p>時間帯が悪いとか、例えば乗って行っても、買物して帰るときには路線がないので行かないとか。時々、沖美の高齢者の方から聞くことがあるのですが、鹿川の藤三へ行くときは良いが、帰りが1時間2時間待つとか、中町棧橋まで行かなければ乗れないとか。</p> <p>ニーズというか、どういった利用の仕方というのを、もう少し細かく聞き取りをして、それにあった路線を組むことも必要だと思います。</p>
議長	<p>そういうアンケートはこれまで何度も取ってきているんですが、再度新しいものを、御指摘のような形で、よく利用される方々のニーズ、そしてダイヤ編成でどういったものが一番良いのか、アンケートを取るということで、事務局でも考えてもらいたいと思います。</p>
委員	<p>会合でも、皆歳をとってくるので、自分で運転できなくなったらバスのような公共の乗り物を利用するしかないねという話は良く出ます。</p> <p>私自身は車に乗っているが、住んでいるところは便利が良いところなので、割とバスの利用者は多いように思います。その人たちが言うのは、歳をとってくると、バスには乗りたいのだけれど、狭いところに立って待つので、バス停で待つのが不安になると聞きます。バス停の整備も考えてもらいたいです。</p>

平成29年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成30年1月18日）

議 長	<p>バス停の整備をしていただきたいということですが、スーパーなど身近なところでは良いのですが、そうでないバス停では寂しいところもあり、まだまだ環境整備が必要なところがあります。ぜひ意見を出していただければと思います。</p>
委 員	<p>利用形態、今後の見込み、いろんなことを検討すべきであると思います。民間の企業であれば効率悪いからやめると言えるのですが、これは公共交通だから、効率の悪いところに限って、本当に必要な人がおられるという気がします。だから、なかなか効率悪いからとやめるといふわけにはいかないと思うのですが、実態をしっかりと調査して、有効的な運行に期すという形を進めたらどうかという思いです。</p>
議 長	<p>御指摘のとおりで、赤字だからすぐ廃止というわけにはいきませんので、それならばどういうふうになれば利用者にとっては便利が高まるのかということも、考えなければいけないと思います。</p>
委 員	<p>今回の資料だと、100円売り上げるのに5,514円という数字が出ていますが、過去には2万3千円という数字があがったときもあります。これは三高～高田～中町の路線で、江田島バスの車庫が中町にあり、三高棧橋まで回送しなければいけないものを営業運行しているもので、三高棧橋からは美能、沖方面へ運行しています。</p> <p>いろんな事情があって、実に効率が悪いと思うが、いろんな事情を抱えた運行をしています。効率の全く悪いところに、本当に利用したい方が待っておられ、その方のために運行しているというのが第3セクターのバス運行ですので、その辺がどこの市町も共通しているのですが、補助金をいただきながら公平に生活交通を運行するというのが、この事業の特徴みたいなものです。</p> <p>事務局から説明がありましたが、公共交通の目標としてそれぞれが絡んでおり、中町から高田発着へ変えているのは、本庁が大柿に移転したことで、高田地区の病院が廃業されたことが理由。高田地区だけバスの便数が少ない状況があったので、高田発着にすることで少しでも改善するのではないかと思います、市にも提案して進めてきました。大柿方面、飛渡瀬方面へ行くバスと関連付けて変更しているの、その辺りを汲み取っていただきたい。</p> <p>1枚の表でみると、ドンと赤字に見えるが、過去の数値と比べると、改善しているものも出てきます。短絡的に見ると大変だが、よその市町よりは頑張っていると、自分は理解しています。</p>
議 長	<p>ICカードの方は、どうでしょうか。</p>
委 員	<p>使われる方はものすごく便利ですが、経営的に見ると、今のところの理解では採算が合わないと思います。</p> <p>パスピーは、カード発行会社が9社で、それ以外の会社は利用会社となります。江田島エリアのバスは、パスピーの精算をするときは、警固屋か広島市内まで従業員を行かさなければ精算ができない状況です。経営に関しては余り良くない点があります。全員がパスピーを使わないので、定期や回数券にパスピーをプラスすることになり、採算が取れるところまで江田島市内では難しい。使う方からは確かに便利良いと思います。</p>

平成29年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成30年1月18日）

議 長	<p>利用者の方々や事業者の方の御意見を伺いましたが、その他何かありますでしょうか。国や県の方でなにかございますか。</p>
委 員	<p>網形成計画を策定し、分析など積極的にしている印象を受けています。公共交通マップという、船・バスの一覧性のあるマップや、新たにバスロケーションシステムを導入されたということで、利便性向上の点ではされているのではないかと思います。利用者の方から、これらによって利用するようになったという声があれば、教えていただきたいです。</p> <p>ダイヤ検討の材料にしてもらいたいのが、黒字系統があつて、これは他の県内市町でみても恵まれていると思いますし、まだまだ需要を掘り起こせるのではないかと思います。系統数自体は非常に多いと思いますし、運行回数も確保されています。黒字になっている系統にヒントがあると思いますので、そういったところを検討してもらいたいと思います。</p>
議 長	<p>特に営業係数で100円未満、つまり黒字のところ、ヒントがあるのではないかと指摘いただきました。是非、活かしていきたいと思います。</p> <p>公共交通マップは、非常に見やすくなったと私は思っています。これについて、利用者側から見た場合、改善した方が良い点など、気づきがありますでしょうか。</p>
委 員	<p>改善ということではなくて、こういうものを各家庭に配ってもらったということで、喜んでいる人がたくさんおられました。それまではバス停に行って、メモして帰っていたが、これがあるので非常に分かりやすい。それを見ると、よそとこういうふうにつながっているんだということで、他に乗り方があるなと思ったということも聞きました。</p>
議 長	<p>そういうふうを活用してもらえるのは良いことだと思います。ほかに何か御意見ございますでしょうか。</p>
委 員	<p>参考資料の系統収支一覧で、他の協議会でここまで数値を出されているところはなかなか見たことがないので、これを利用者の方や関係者の方に御承知いただきたいと思います。</p> <p>1年単位でこういう数値ですという資料ですが、年々こうなっているという広い視点であれば、より分かり易くなっていくのではないかとということで、引き続きこういった資料の提供に御協力いただきたいと思います。</p> <p>利用促進の部分で、社会情勢的な部分もあり、どんどん人口が減り、高齢化が進む中で、なかなか1企業・1団体の努力では難しい部分があるので、バス会社、江田島市、住民の方など御協力いただき、話し合い、意見を出していただき、利用のし易い環境を作るヒントが出てくるのかなということで、すぐにこれをやれば結果が出るものはないですが、いろいろやりながら長い視点で見つつ、ということで、活動をお願いしたいと思います。</p>
議 長	<p>系統別収支については、関係者の方々に情報を共有することは、とても良いことだと思います。</p>
会 長	<p>広い視野で見たときには、ある程度年数の経過で見えていかなければならない部分もありますし、単年度で言えばそれに特化した見方もあります。</p>

平成29年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成30年1月18日）

<p>会 長 (続き)</p>	<p>収支については検討・分析を加えてお示ししていく方が良いと感じています。こういった情報を皆さんに開示していくのは大事なことだと思いますが、やはりその状況に応じて判断できるような資料を提供していく必要があると思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>是非、こういう情報を提供していただくことが、よろしいかと思います。関係者だけが知っているということでは困りますので、住民全体にこういう情報が行き届くように、努力していただければと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>非常に貴重な資料を作っていただき、大変かなと思います。皆さんに知ってもらい、利用してもらえればと思います。</p> <p>逆に、バスのこともそうなんですが、例えば社会福祉協議会の方とか、老人クラブの方とかの中で、「こうだからバスに乗れない」だとか、乗りたいけど乗れないということはないでしょうか。</p> <p>例えば、バスの乗り方を知らない、乗ったことがないからどうしても乗るのが億劫になるとか、そういう方もおられるし、ステップが高くて乗れないとか、島内はカーブが多いので、車酔いをするのでバスは苦手という方もいると聞きます。</p> <p>例えば低床バスにただけでも利用が増えたとか、バス停に屋根ができただけでも違うとか、そういった「ちょっとしたこと」で利用者が増えることがあります。気付きの点があればアドバイスをしていただければと思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>この協議会は、地域の皆さんや事業者の皆さんを代表するわけですから、このように便宜を図ってもらえれば、このような効果が得られるのではなかろうかということでも結構ですので、そういった改善点があれば、この機会に話していただければと思います。</p> <p>この機会で、地域の事柄について理解していただく、例えばバスで医療的などころへ行くだけではなくて、例えばショッピングのときには、こういうものが便利だとか、野菜などを運ぶのが大変なときは、コースなどを利用者の方と見直す機会があっても良いのではないかとか、混乗バスというのがありますが、スクールバスだけでなく一般の人が利用できるというだけではなくて、三原市であるのですが、本当は治療目的だけのバスがショッピングにも使えるとか、そのような目的が交じり合っているものも良いのではないかという要望も出ています。</p> <p>いずれにしても、こういう点を改善すれば良いのではないかということがあれば、是非出してもらいたいと思っています。</p>
<p>委 員</p>	<p>バスの待ち時間が分かるもの、これはこの島に住んでいる人が使っていないと思います。確かに街で使うには便利ですが、田舎では携帯電話を持っていない人もいます。</p> <p>バスの場合はバス停で乗らなければならないという法規を曲げることはできませんが、利用者がバス路線の自分の近いところで乗れるとか、そんなことを考えたら良いのではないかと思います。</p> <p>その地域での事情があり、その地域でのやり方を考えた方が良いと思います。街から来られた方が、便利が良いと言っても、街から来られる方がどのくらいいるのか、それを考えてみたら、それはいらぬんじゃないかとか、いろんなこと</p>

平成29年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成30年1月18日）

<p>委 員 (続き)</p>	<p>が分かります。</p> <p>利用する方がいるので、公共交通ですから、その人のために存続しなければいけませんし、存続するためにはどのようにすれば良いか。これはもう随分昔から、旧4町の時代からの課題だったと思います。</p> <p>この島にいて、利用者の方々が、便利が良いように、なおかつ赤字が少なくというのが、皆さんの共通の考え方だと思います。地域性がある、街と同じような感覚で、街がこれが良いからこれを使うというのは、私はちょっとおかしいと思います。もっと現実的に、どうすれば皆が助かるのか。利用者は、あまり歩かないというのが理想だと思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>今後また、こういう議論をする場を設けたいと思います。</p> <p>今日は陸上交通の検証ということだけで議論されております。次は海上交通ということで、御意見賜りたいと思います。陸上交通に関しましては、ただいま皆さんから御意見が出たことを、いろいろ組み入れた形で、整理していきたいということです。</p> <p>この協議会でございますが、もう1度機会があれば、地域の事業者や利用者の方々の御意見を出す形を取りたいと思います。</p>
<p>事務局長</p>	<p>御意見いただいて、ありがとうございます。</p> <p>バスイットの利用状況という話が出ましたので、紹介しておきます。今年度の4月から導入しまして、月平均としては、ページビューという、ページを見られた数が、月に2,700件くらいあります。実際的人数では月平均1,300人くらいあります。1日で割ったら、大体1日40の方が90回ページを見ているという、それくらい利用されているということです。</p> <p>あと、入込観光客ということで、市外から年間35万人の観光客がおり、その方を利用者として取り込まなければ、今後の路線維持は難しいと思います。当然、今住まれている方々の利便性を高めていくという取り組みもありますし、それと一緒に、市外から来られるお客さんを取り込んでいって、全体として船もバスも守っていくという取り組みを進めていきたいという思いです。</p>
<p>5 閉 会</p>	
<p>議 長</p>	<p>それでは、長時間にわたり慎重審議をしていただき、ありがとうございます。それでは今日の公共交通協議会、これで終了させていただきます。後の取りまとめ、事務局よろしく申し上げます。</p>